

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

評 価 日 令和 3年 2月 10日

団 体 名	跡部踊り念仏保存会		
事 業 名	” 跡部の踊り念仏 ” の保存・伝承事業		
対 象 経 費	654,360 円	支 援 金 交 付 対 象 経 費	140,360 円
支 援 金 額	64,000 円		

事業の目的・内容	目的
	<p>跡部の踊り念仏は、佐久市跡部に伝わる歴史民俗文化財として740年を超す伝統をもち、国の重要無形民俗文化財として、平成12年に登録されました。戦後昭和27年の復活公演、昭和41年の保存会設立などを経て、現在まで長期間にわたって保存伝承活動を行って参りましたが、更にはその活動を強化し、地域の文化活動を盛り上げてゆく上で、冊子『跡部の踊り念仏』のリニューアル版の発行と、小学生や中学生向けの学習資料を作成し、地域に根ざす活動を進めて行きたい。</p>
事業の活動実績	内容
	<p>平成26年に作成した冊子『跡部の踊り念仏』が残部が僅かとなりました。” 跡部の踊り念仏 ” について地域への理解を進めるため、また、最近歴史や文化が見直され、文化財に対する関心が高まっており、ここで、前回発行後に新たに発見された史料や知見、不備な箇所などを加えたリニューアル版を作成する。</p> <p>また、10年ほど前から小学生を対象とした「子供踊り念仏」の活動を始め、数年前から野沢中学校で地域の文化や産業・生活などを体験する「体験学習」（ふるさと学習）の授業に” 跡部の踊り念仏 ” がくわえられて来ていますが、ここで活用する教材を作成する。</p>
	<p>1. 小学生向けの教材用パンフレットは3ページで400部製作。8月の「子供踊り念仏」にて使用予定でしたが、今年度はコロナウイルスの感染拡大を防止するため中止となり、使用できませんでした。</p> <p>2. 中学生向けの教材は5ページで100部製作。10月8日の野沢中学校「体験学習」で14名の生徒と教師1名、跡部踊り念仏の伝承者・役員14名の合計28名が学習会と、伝承者による実演及び生徒の体験指導を行いその際に本教材を使用しました。また、野沢中学校3学年のクラスで伝統文化の伝承について、「跡部の踊り念仏」の授業を行い、保存会からも伝承者を含め参加し、同様の教材を使用しました。</p> <p>3. 冊子『跡部の踊り念仏』リニューアル版は1,500部作製し、跡部区民の各戸（264戸）に配布した他に、国、県、佐久市の教育文化関係部署、地域振興部門をはじめ冊子作成の資料提供者や協力して頂いた寺院、団体などに贈呈し、佐久市内小・中・高等学校や図書館・文化施設には直接出向き贈呈をしてきました。1月末までに総部数630冊を越えています。今後更に希望がある方や公民館活動での研究会、大学のゼミや研究所等、今年度はコロナで来訪できなかった方々などに活用して頂くようにしていきます。特に将来ユネスコ遺産登録も視野に入れての活用が期待されるところでです。</p>



別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	<p>この事業についてはコロナの影響で8月予定の「子供踊り念仏」が中止となり、更に10月と令和3年1月開催予定の冊子『跡部の踊り念仏』リニューアル版を使った学習会が開催できなかったことは、事業の成果効果を考えると残念なことです。</p> <p>しかし、野沢中学校の「体験学習」は昨年から見ても参加する生徒が倍増したり、体験の中で体を動かすことや、一遍上人の踊り念仏に対する思いや歴史に触れ、伝承者から教えてもらった言い伝えに関する事などが感想文に書かれていることは、「跡部の踊り念仏」に関わる歴史、伝承活動の大切さなどが生徒たちに伝わった実感があります。</p> <p>また、中学校河野教諭の熱心な地域文化を伝承・継承するための生徒たちへのアプローチなどは保存会としても大変感銘を受けました。従って少ないチャンスではありましたがそれなりの成果と考えます。</p> <p>更に、冊子の贈呈の際に贈呈先から寄せられた関心の深さ、保存会に対しての対応などから、これからも広く「跡部の踊り念仏」を発信する重要性を感じることができました。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた    〇2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入    2</p> <p>冊子『跡部の踊り念仏』リニューアル版の発行、小学生向け教材、中学生向け教材の作成は完了しました。</p> <p>また、冊子『跡部の踊り念仏』リニューアル版の地域への配布や、予定していた方々や団体などを越えて贈呈できたことなどはできました。</p> <p>しかし、小学生対象の第11回「子供踊り念仏」や、地域への還元で2回予定した「跡部の踊り念仏」の学習会がコロナで中止となりできませんでした。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた    〇2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入    2</p> <p>学習会ができなかった等ありますが、中学校の「体験学習」や、冊子の贈呈などで礼状や励ましの言葉を頂きそれなりの反応を感じました。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ    〇2 多少の変更があった    3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p> <p>1. 小学生向け教材と中学生向け教材のプリント代金がそれぞれカラーを白黒で一部印刷できたので減額があった。</p> <p>2. 冊子『跡部の踊り念仏』改訂版の送付先が増えたため増額をした。</p> <p>3. 冊子『跡部の踊り念仏』改訂版の印刷費が見積もり時より一色増やしたため増額となった。（差し引きで11,250円の増額）</p>
	その他、評価すべき点等	<p>今年度はコロナの関係で実現できなかった事柄は伝承活動をこれからも続けていく中でしっかりとやっていくつもりです。多くの人との交流やともに築くということが原点のものです。その意味でコロナが早の終息することを願うところです。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>成果・効果の項でも触れましたが、「跡部の踊り念仏」はその長い伝承の歴史を持っており、新年度からコロナでできなかった活動を継続し、地域への宣伝や、将来のユネスコ遺産登録に向けた地道な活動を行って行くことと、伝承者を確実に増やし、保存会活動を行って参りたいと考えます。</p>
---------	---